



Digi-focal

バイフォーカル
の新しい形



日本レンズ
NIPPON LENS since 1935



設計概要

Digi-focal は、遠用と近用のビジュアルゾーンでの「画像のジャンプ」を示さない、驚くべきパーソナライズされたフリー フォームデザインのバイフォーカルレンズです。

従来のバイフォーカルレンズには、遠方と近方の境界線が目にかかることで不快であり、又、安全性に影響を与え、装用者のビジュアル的な快適性を低下させることさえありました。

Digi-focal はさらに一步進んで、目に見える境界線をなくしました。これにより、装用者は従来にはない自由を感じることができます。

さらに、このレンズは、スマートフォンやタブレットを使用した近方視力とTVや外出など遠方視力を必要とするあらゆるアクションに適し、汎用性にも優れています。

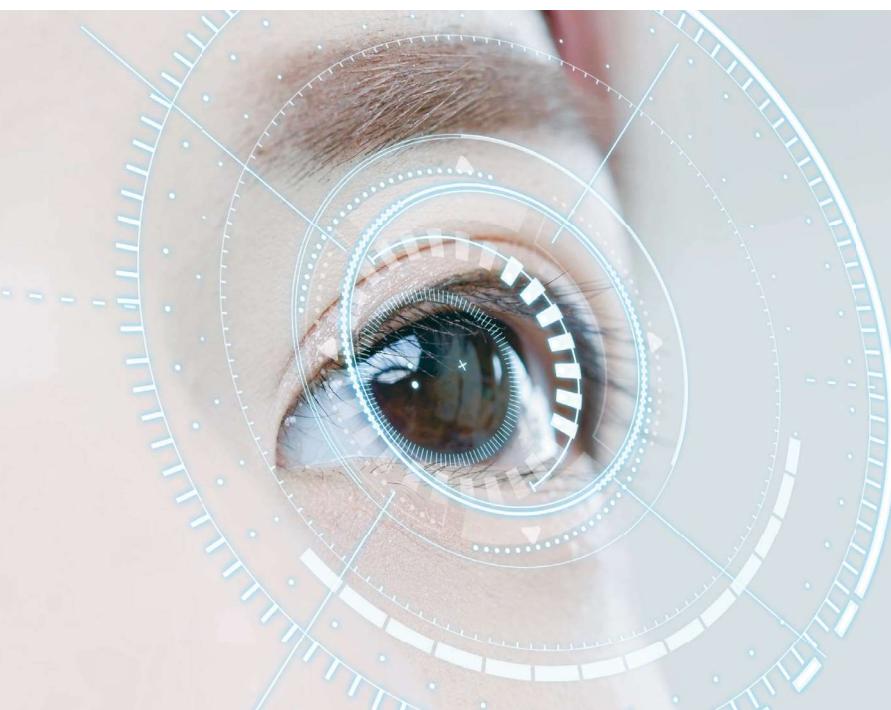
Digi-focal は、一言で言えば、過去から未来へ、つまり従来のバイフォーカルレンズから新世代へ移行するための理想的なソリューションです。



IOT
Lens design

IOT Digital Ray-Path®

このテクノロジーの仕組みは、斜めの収差を減らすことを実現します。IOT Digital Ray-Path®はレンズと人間の目がどのように機能するかを「理解」し、レンズの性能と装用者のビジュアル体験に大きな影響を与える斜めの収差をこの技術で補正できるようにします。クリアさと快適さへの重要なポイントです。



IOT
Technology

► 理想的な装用者

- ✓ 従来のバイフォーカルレンズからの切り替え
- ✓ 見た目を重視するバイフォーカルユーザー
- ✓ 最新のバイフォーカルデザインを探しているユーザー
- ✓ 累進レンズ装用に失敗したユーザー
- ✓ 将來の累進レンズユーザー

► 利点

- ✓ 驚くべきビジュアル品質
- ✓ クリアで自然な視界とメリハリ
- ✓ 遠方と近用のゾーン間の画像のジャンプがない
- ✓ 高い快適性の実現
- ✓ 見栄えが良い
- ✓ パーソナライズデータを反映させたレンズデザイン
- ✓ 幅広いフレームへの対応



► Digi-focal 未来への大きな一歩

画像ジャンプあり



従来のバイフォーカルレンズには、視覚ゾーンの間に目に見える境界線があります。

画像ジャンプなし



デジフォーカルは、視覚ゾーンの間に起きる境界線を排除します。斜めの収差を抑えます。

斜め収差あり



通常の累進デザインには、レンズの両側にぼやけがあります。

Digi-focal の処方

1

ご注文には以下のデータを提供してください

- ✓ 近業作業距離と加入度
- ✓ インセット量・そり角・前傾角・頂点間距離
- ✓ フレームデータ
- ✓ 瞳孔の高さ(アイポイント)

*指定されていない場合はデフォルト値でお作りします。

2

加工での注意事項

①累進レンズ同様なアイポイントで調整する場合

⇒装用者の近業作業距離を優先したFitting

②瞳孔の中心ではなく、下まぶたに(従来のバイフォーカルとして)調整する場合

⇒アウトドア活動など外出を重視したFitting

3

適正なフィッティングに必要な高さ

アイポイントから下方15mmは確保してください

*アイポイントに対して下方10mmに近用が来ます

(近用測定位置はさらに下に来ます) 詳しくはレンズガイドをご確認下さい

4

インデックス

UV400 1.60 ,1.67

UV420 1.60 ,1.67

日本レンズ工業株式会社
本社工場
〒596-0823大阪府岸和田市下松町2-3-25

TEL : +81(0)72-423-2421
FAX : +81(0)72-438-0187
日本レンズ工業株式会社

